

クローン病で リンヴォック®を 服用される患者さんへ

監修 東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 主任教授
猿田 雅之 先生



注)リンヴォック®の効能又は効果(抜粋)は
「中等症から重症の活動期クローン病の寛解導入及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)」です。

abbvie

はじめに

クローン病は症状がよくなったり(寛解^{かんかい})、悪くなったり(再燃)をくり返すという特徴があります。

近年、クローン病治療では症状をおさえるだけではなく、消化管粘膜^{ねんまく}の炎症をしっかりとおさえること(粘膜治癒)が重要といわれています。また、さまざまな働きをもつ治療薬が登場しており、患者さんの症状に合わせて適切な治療を選択することで、寛解を維持することが可能になってきています。

リンヴォック[®]は、毎日1回服用するクローン病の治療薬で、過去にクローン病の治療をおこなっても効果が不十分だった場合に使われるお薬です。寛解を導入するための治療と、寛解を維持するための治療の両方に使われます。

長期間安定した生活を送れるように、日常生活では無理をしないよう心がけましょう。また、症状が落ち着いているときであっても、医師の指示を守って通院や検査、治療を続けることが重要です。

この冊子では、リンヴォック[®]による治療のことや、安定した生活を送るために知っておいていただきたいことをまとめました。

心配なことや疑問に思うことがありましたら、医師や看護師、薬剤師などにご相談ください。

監修

東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 主任教授

猿田 雅之 先生

もくじ

■ はじめに	2
■ クローン病について	4
■ 病気の経過	4
■ 粘膜の炎症をおさえる重要性	5
■ 治療の目標について	6
■ 治療を続ける重要性	7
■ リンヴォック®の治療について	8
■ 消化管が炎症を起こすメカニズム	8
～リンヴォック®の作用を理解するために～	8
■ リンヴォック®の作用	9
■ 治療を開始する前に	10
■ 治療を開始するにあたって必要な検査	11
■ 服用のしかた	12
■ 他のお薬や食品をとるとき	13
■ 服用中に注意すべき症状	14
～こんな症状がみられることがあります～	14
～帯状疱疹～	16
～ニキビ～	18
■ 日常生活で注意したいこと	20
■ リンヴォック®による治療ができる患者さん	23
■ 治療によって改善が期待できる症状	23
■ 治療目標と治療効果の確認について	24
■ Q&A	26
Q：症状が悪化したときはどうしたらよいでしょうか？	26
Q：飲み忘れたときはどうしたらよいでしょうか？	26
Q：他のお薬やサプリメントとの飲み合わせには注意が必要でしょうか？	26
Q：リンヴォック®は何時に飲んだらよいでしょうか？	27
Q：かぜをひいたときはどうしたらよいでしょうか？	27
Q：妊娠や授乳はできますか？	27
Q：他の医療機関にかかるときはどうしたらよいでしょうか？	28
Q：ワクチンを打ってもよいでしょうか？	28
Q：旅行はできますか？	29
Q：リンヴォック®錠の表面に斑点が見えますが、大丈夫ですか？	29
Q：進学はできますか？	30
Q：就職することや、今の仕事を継続することはできますか？	30
■ 指定難病に対する医療費助成について	31

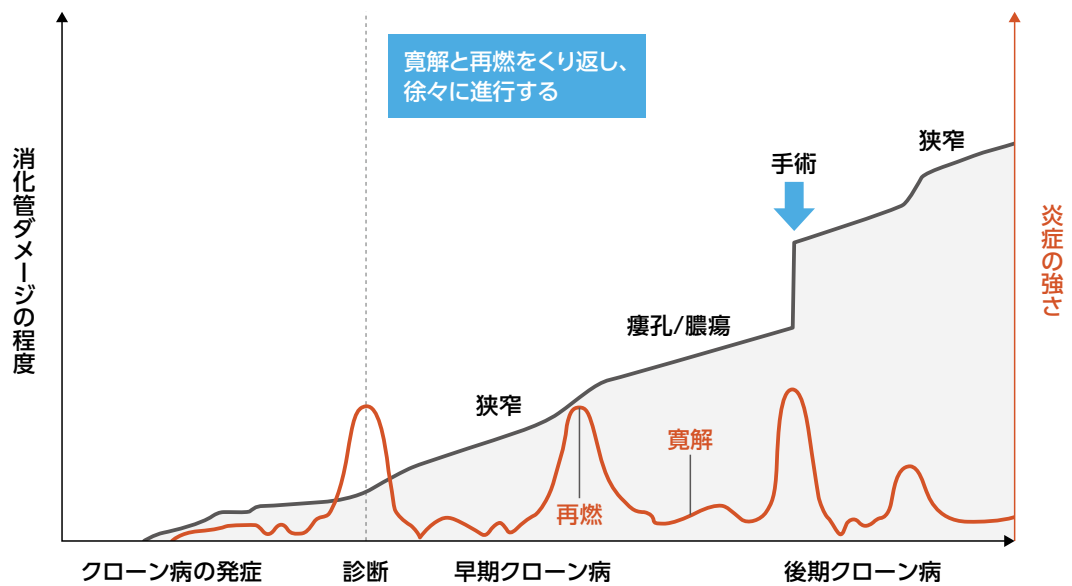
病気の経過

クローン病は寛解と再燃をくり返す病気です

クローン病は、症状が落ち着いている時期（寛解）と、再燃して症状がみられる時期（活動期）をくり返し、徐々に進行する病気です。

活動期では、つらい症状や炎症をおさえるための治療をおこない、症状が落ち着いたあとは寛解を長く維持できるように治療を続けます。

クローン病の経過



(イメージ図)

Colombel JF, et al.: Gastroenterology. 152, 2: 351-361 (2017). より改変

粘膜の炎症をおさえる重要性

症状がなくても腸管などの消化管の障害が進行し、病気が進行する可能性があります

クローン病は症状が落ち着いているときであっても、消化管の粘膜に炎症や潰瘍(粘膜が欠損すること)が起きていることがあります。症状がひどくなくても腸管の障害が進行し、腸管の幅がせまくなってしまふ「腸管狭窄」や、消化管に穴があいてしまふ「穿孔」などがあらわれることがあります。炎症が続くことで消化管へのダメージが積み重なり、手術による治療が必要になることがあります。

腸管粘膜の写真

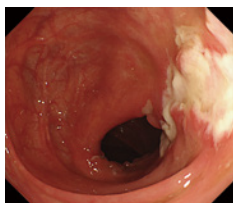
粘膜障害なし



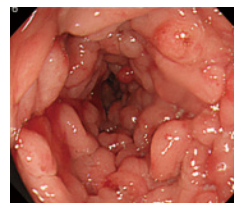
粘膜治癒

粘膜障害あり

縦走潰瘍



敷石像



東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 主任教授 猿田 雅之 先生 ご提供

消化管粘膜の状態を確認するため、定期的に検査を受け、炎症をおさえるように注意していくことが重要です。

検査の種類

内視鏡検査

- **大腸内視鏡検査**
内視鏡スコープを肛門から挿入し、大腸粘膜の様子を撮影します。
- **小腸内視鏡検査(バルーン内視鏡検査)**
内視鏡スコープに付いたバルーンを膨らませながらスコープを小腸に到達させ、小腸粘膜の様子を撮影します。内視鏡スコープは、口から挿入する場合と肛門から挿入する場合があります。
- **カプセル内視鏡検査**
小型カメラのついたカプセルを飲み込み、腸管粘膜の様子を撮影します。カプセルは撮影後に自然排出されます。



血液検査

便検査

その他の検査 CT・MRI検査など

※検査方法の詳細は病院によって異なります。

治療の目標について

消化管粘膜の炎症をおさえることが重要です

クローン病の治療では、早期に症状をおさえることだけでなく、長期目標として消化管の粘膜の炎症をおさえることが重要だと考えられるようになりました。消化管粘膜の炎症を正常に近い状態に保つことで、将来手術を受けるリスクを減らす可能性があるといわれています¹⁾。

クローン病の治療目標

消化管粘膜の治癒(粘膜治癒)を達成すると、寛解の状態が長く続き、入院や手術が必要ない状態を保つなど、生活の安定が期待できます。



治療の目標として寛解を長く維持することを目指す一方で、それを達成した際にどのような生活を送りたいかについて考えることも重要です。ご自身のやりたいことを医師と共有し、一緒に目標をたてましょう。

1)Frøslie KF, et al.: Gastroenterology, 133, 412-422 (2007).

治療を続ける重要性

治療をやめてしまうと病気が進行してしまう可能性があります

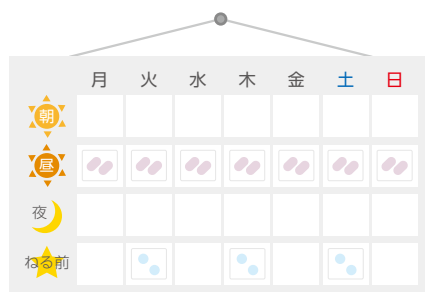
クローン病は症状が落ち着いているときは数ヶ月に一度の受診になることが多く、患者さんご自身で服用による治療を続けなければなりません。薬をやめてしまったり、服用を忘れていたりすることが続いてしまうと、病気が進行してしまう可能性があります。

ご自身のライフスタイルに合わせて治療継続ができる工夫をおこないましょう。

薬の服用を忘れないようにする工夫(例)

- 毎日服用する時間を決める
- 携帯のアラーム機能を使う
- お薬カレンダーを使う

など



リンヴォック®の服用サポートについて

スマートフォンアプリの一つに、LINEを使ってリンヴォック®の服用をサポートするサービスがあります。

服用の確認だけでなく、クローン病に関する情報をみることができます。ぜひご活用ください(詳細は冊子裏面をご覧ください)。

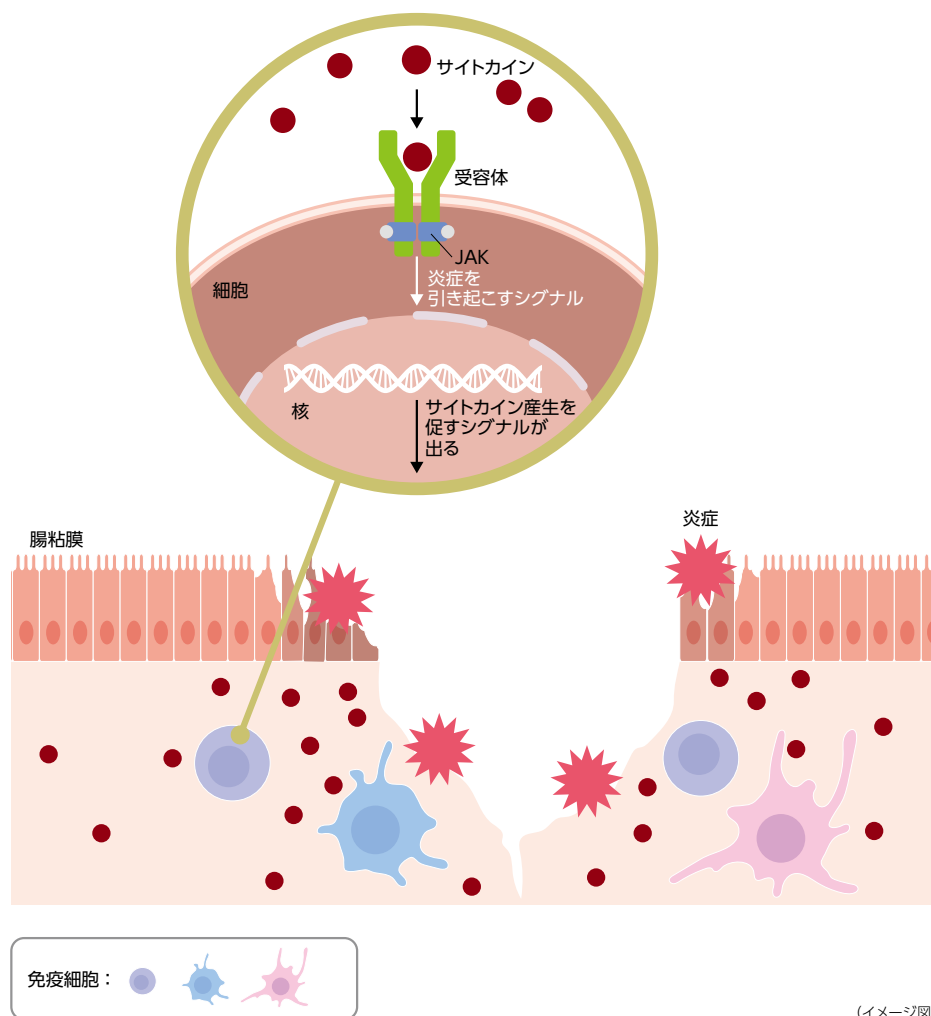
消化管が炎症を起こすメカニズム

～リンヴォック®の作用を理解するために～

炎症を引き起こす物質が過剰に作られることで
つらい症状が慢性的に起こります

クローン病の患者さんの消化管では、炎症を引き起こす物質（炎症性サイトカイン）が大量に産生されています。炎症性サイトカインの刺激により消化管の粘膜が傷つくことで、腹痛や下痢などの症状が引き起こされます。

また、炎症性サイトカインが免疫をつかさどる細胞（免疫細胞）の表面にある「受容体」に結合すると、細胞の中に信号が伝えられ、さらに多くの炎症性サイトカインが作られるようになります。このくり返しにより、炎症は慢性化していきます。



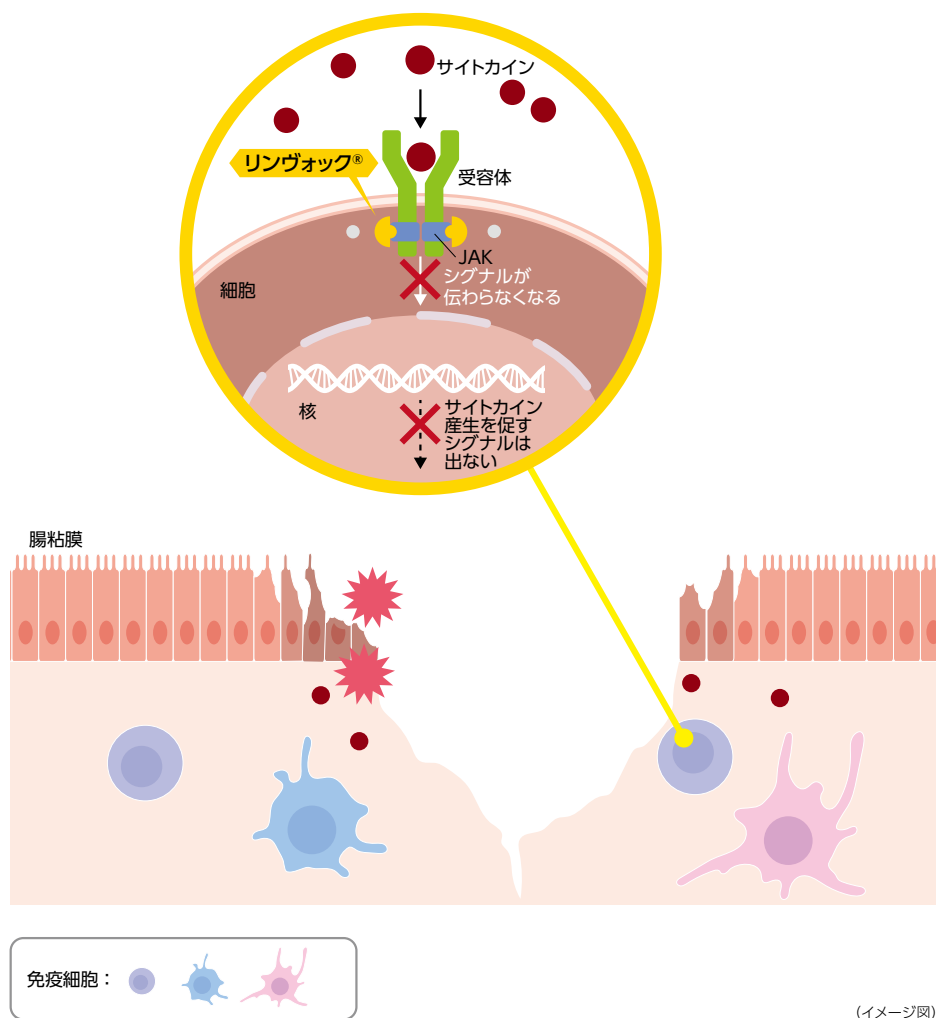
(イメージ図)

リンヴォック®の作用

炎症性サイトカインが過剰に作られることを
防ぐお薬です

リンヴォック®は、免疫細胞の中のヤヌスキナーゼ(JAK)と呼ばれる酵素(タンパク質の1つ)に結合するお薬です。

JAKは、炎症性サイトカインが受容体と結合したあと、サイトカインを作り出すなどの信号を細胞内に伝えるために重要な働きをします。リンヴォック®がJAKと結合することで、この信号を伝える仕組みを妨げ、炎症性サイトカインの過剰な産生がおさえられます。



(イメージ図)

治療を開始する前に

リンヴォック®の治療を開始する前に確認しておくことがあります

リンヴォック®は、中等症～重症の活動期クローン病の症状を改善して、寛解を導入するために、また再燃をおさえて寛解を維持するために使用される「JAK阻害剤」と呼ばれるタイプの飲み薬です。重大な副作用などを防ぐために、治療を開始する前に以下についてあらかじめ確認します。

- 過去にリンヴォック®に含まれる成分でアレルギー反応を経験したことがないか
 - 感染症にかかっていないか
 - 結核にかかっていないか
 - B型肝炎ウイルスに感染していないか
 - 静脈血栓塞栓症のリスクがないか
 - 腸管憩室がないか
 - 間質性肺炎を経験したことがないか
 - 血液検査(好中球数、リンパ球数、ヘモグロビン値)で異常がないか
 - 肝臓や腎臓に障害がないか
 - 悪性腫瘍を経験したことがないか
 - 妊娠していないか
 - 授乳していないか
 - 予防接種の予定がないか
- など

治療を開始するにあたって必要な検査

リンヴォック®による副作用の発現を予防するために、
治療開始前に、問診・診察に加えて下記の検査をおこなう
必要があります

血液検査

B型肝炎ウイルスや結核菌に感染していると、リンヴォック®の服用によってB型肝炎ウイルスの再活性化や、結核の発症を引き起こすことがあります。これを防ぐために、採血をしてB型肝炎ウイルスや結核菌に感染していないかを調べます。



画像検査

胸部レントゲンやCTによって、結核を発症していないかを調べます。



リンヴォック®の治療を適切に続けるために、治療開始後も定期的に検査を受けるようにしましょう。

服用のしかた

■ リンヴォック®は1日1回服用するお薬です

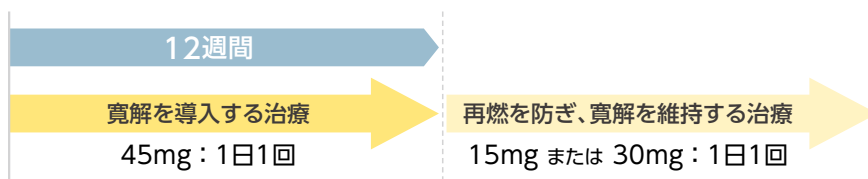
服用方法

■ 1日1回、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で、毎日服用します。かみ砕かずに服用してください。

- ・症状がない状態(寛解)を導入する治療では45mgを服用します。
- ・再燃を防ぎ、寛解を維持する治療では15mgまたは30mgを服用します。



◆投与スケジュール例



※医師の指示に従って、適切な用量を服薬してください。

服用を忘れたとき

服用を忘れたことに気づいたら、すぐに1回分を服用してください。次の服用時間が近い場合は、次の服用時間に1回分を服用してください。2回分を一度に服用しないでください。

他の医療機関を受診するとき

他の医療機関を受診する場合には、リンヴォック®を服用していることを、医師または薬剤師にお伝えください。

- * リンヴォック®は、患者さんの病状によって服用の方法を変更することがあります。必ず医師の指示に従って服用してください。ご自身の判断で服用する量や回数を増やしたり、減らしたり、服用を中止したりせず、医師の指示通りに毎日飲み続けましょう。服用の時間は決められていませんが、飲み忘れを防ぐために毎日同じ時間帯に服用するとよいでしょう。服用のタイミングなどをお知らせするLINEを使ったサービスもご利用いただけます(冊子裏面参照)。
- * リンヴォック®の服用により、副作用があらわれる可能性があります。副作用の症状や程度には個人差がありますが、副作用の重症化を防ぐために、できるだけ早く気づいて対処することが大切です。気になることや、「いつもと違う」と感じる事があれば、できるだけ早く医師または薬剤師に相談してください。

他のお薬や食品をとるとき

リンヴォック[®]には、一緒にとることで効果が強くなったり、逆に弱くなったりする可能性のあるお薬や食品があります

他の病院で処方されたお薬や、市販のお薬などを服用する場合は、リンヴォック[®]を服用していることを必ず医師または薬剤師にお伝えください。

治療効果に影響を与える可能性のあるお薬や食品

■ **抗菌薬**(かぜや肺炎などの細菌感染症で服用するお薬)
クラリスロマイシン、リファンピシン



■ **抗真菌薬**(水虫やカンジダなど真菌感染症で使用するお薬)
イトラコナゾール

■ **抗ウイルス薬**(HIVやC型肝炎などの治療で使用するお薬)
リトナビル



■ **抗てんかん薬**
カルバマゼピン、フェニトイン

■ **ハーブやサプリメント**
セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)を含むもの



■ **グレープフルーツ**

他にも、リンヴォック[®]の治療効果への影響が考えられるお薬やサプリメントがあります。

リンヴォック[®]以外のお薬やサプリメントなどをとる場合は、必ず事前に医師や薬剤師に相談しましょう。

服用中に注意すべき症状

～こんな症状がみられることがあります～

リンヴォック®服用中に、以下のような症状がみられることがあります。症状に気づいたら、服用をやめて、すぐに医師に相談してください。

全身的な症状

- 発熱
- 咳
- 寒気
- だるさ
- 脱力感
- しびれ
- 食欲の低下
- めまい
- ふうつき

顔の症状

- 白目が黄色くなる

皮膚の症状

- チクチク・ピリピリした痛み
- 痛みを伴う赤い発疹・水ぶくれ
- 発熱を伴い顔を中心に広がる赤い発疹・水ぶくれ
- ニキビ
- 黄色くなる
- 表面に斑点やいぼ状の隆起

胸部の症状

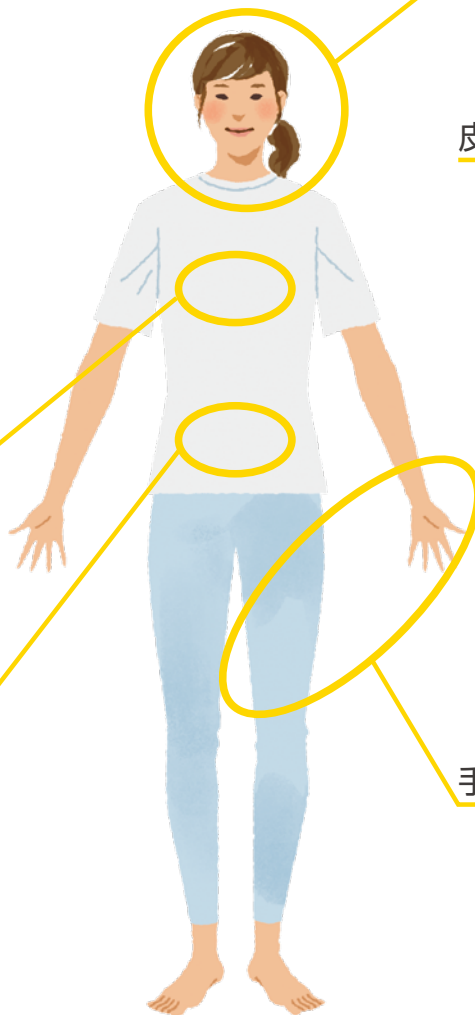
- 息苦しさ
- 胸の強い痛み
- 圧迫感

腹部の症状

- 吐き気、おう吐
- 激しい腹痛

手や足の症状

- 手足のしびれ感
- 足の痛み、筋肉痛



これらの症状は、p.15のような副作用が原因で生じている可能性があります。いざというときに落ち着いて対応できるように、副作用の症状を知っておきましょう。

■ 感染症

リンヴォック®服用により免疫の働きが低下し、感染症にかかりやすくなる可能性があります。予防のために、手洗いやうがいなどを心がけましょう。

主な症状：発熱、咳、だるさ、寒気、息苦しさ

■ 静脈血栓塞栓症

血管に血のかたまり(血栓)ができ、詰まってしまう病気です。

主な症状：胸の痛み、足の痛み

■ 消化管穿孔

何らかの原因で消化管に穴があいてしまう状態です。腸管憩室や憩室炎になったことがある人は、消化管穿孔が起こりやすいため、必ず医師に伝えましょう。

主な症状：激しい腹痛、吐き気、おう吐、食欲不振

■ 肝機能障害

主な症状：だるさ、発熱、食欲の低下、皮膚や白目が黄色くなる

■ 間質性肺炎

吸い込んだ空気から酸素が取り込まれる肺胞の壁に炎症が起こる病気です。

主な症状：発熱、息苦しさ、から咳(痰を伴わない咳)

■ 血液検査値の異常

血液中の好中球やリンパ球、ヘモグロビンなどの検査値に異常がみられることがあります。

主な症状：貧血(めまい、ふらつき)、感染症(発熱、のどの痛み)

■ 悪性腫瘍

リンヴォック®の服用との関係は明らかではありませんが、臨床試験では悪性腫瘍がみられたという報告があります。

■ 心血管系事象(コレステロール値の上昇)

主な症状：胸の強い痛み、突然の顔や手足のしびれ(片側だけに起こることも)、締めつけ感、脱力感

■ 横紋筋融解症、ミオパチー

主な症状：筋肉痛、しびれ

■ 腎機能障害

主な症状：だるさ、皮膚のかゆみ、食欲不振

■ B型肝炎ウイルスの再活性化

■ 重篤な過敏症

■ 骨折

服用中に注意すべき症状

～帯状疱疹～

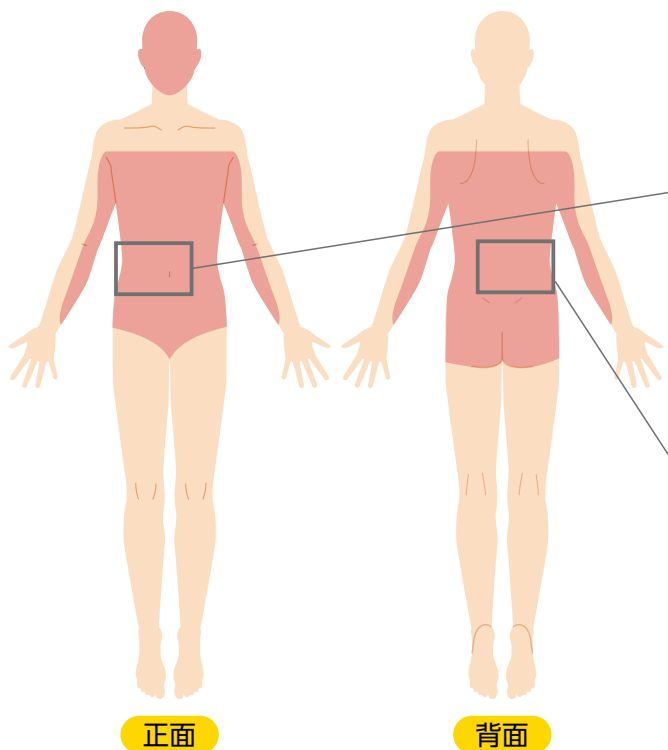
リンヴォック®服用中には、帯状疱疹にも注意が必要です。帯状疱疹とは、もともと体の中に潜んでいる水ぼうそうの原因となるウイルスによって起こる皮膚の病気であり、水ぼうそうにかかったことがある人なら、誰でも発症する可能性があります。



(イメージ図)

● 発生しやすい部位

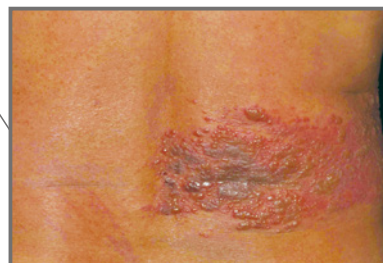
- ・ 体幹 (胸・腹部・背中)
- ・ 腕
- ・ 顔



腹部



背中



写真提供：
東京慈恵会医科大学皮膚科学講座
主任教授 朝比奈 昭彦 先生

体の左右どちらか片側に帯状にあらわれ、痛みをとまいません。

帯状疱疹の経過

発疹が出現する前から、身体の片側に帯状に「ピリピリと痛いような、かゆいような違和感」や「虫刺されのようなかゆみ」が起こります。これは帯状疱疹の初期にみられる「サイン」ともいえる症状で、この症状はだんだんと強くなっていきます。

症状がみられて数日～1週間のうちに、虫刺されのような赤い湿疹ができ、水ぶくれになることもあります。痛みの程度は、軽い人もいれば夜に眠れないほどの痛みを感じる人もおり、個人差があります。

初期の皮膚症状



写真提供：愛知医科大学皮膚科学講座 教授 渡辺 大輔 先生

痛みのおさまり方には個人差があります

受診して帯状疱疹と診断されたら、ウイルスの増殖をおさえる抗ウイルス薬や痛み止めの薬を使用して治療をおこないます。皮膚の症状がピークを迎えるのは発疹が出現してから7～10日ごろです。痛みは皮膚症状が治る頃にはおさまることが多いものの、痛みだけが残る場合もあります。痛みが強く、長引く場合には、ペインクリニックなどを紹介されることもあります。

早期発見、早期治療が大切です

帯状疱疹は、治療が遅れると発疹が拡大したり、痛みやしびれが残ったりすることがあるため、できるだけ早く治療することが大切です。治療は、発疹があらわれてから72時間以内に開始することが望ましいとされています。発疹の前にあらわれる「サイン」を見逃さず、気になる症状があれば、すぐに医療機関を受診してください。

日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会編。
ペインクリニック治療指針改訂第7版。文光堂。2023。P142-146

服用中に注意すべき症状

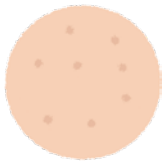
～ニキビ～

- リンヴォック®の服用中に起こる症状の一つにニキビがありますが、ご自身の判断で服薬を中止せず、医師に相談しましょう。
- ニキビは発疹の出方で主に4種類に分けられ、対処法が異なります。

主なニキビの種類と基本的な対処法

● マイクロコメド

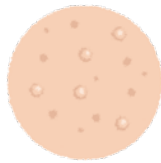
微小面ぼう



毛穴が狭くなり、皮脂がたまり始める。この段階では目に見えない。

● コメド

面ぼう



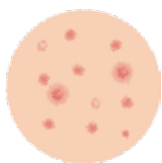
毛穴がつまり、中で皮脂がたまる。触るとざらざらする。

毛穴のつまりを改善するお薬

過酸化
ベンゾイル

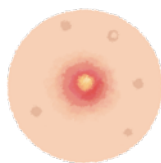
アダパレン

● 赤ニキビ



毛穴の中で増えたアクネ菌が炎症(赤み)を起こす。

● 化膿したニキビ



炎症が広がる膿がたまって黄色く見える。

アクネ菌の増殖を抑える
お薬

過酸化
ベンゾイル

抗菌薬

炎症を抑える
お薬

抗炎症剤

(イメージ図)

※症状や合併症などにより違うお薬が使われることもあります。医師が患者さんと一緒に治療法を決定します。

林伸和 ほか: 日皮会誌, 127, 12: 1261-1302 (2017)

- ニキビの治療法は、症状や合併症などにより異なるため、医師が患者さんと一緒に治療法を決定します。

大人のニキビのでき方は思春期のニキビと同じですが、女性に多く、悪化の原因としてストレスや睡眠不足、不規則な生活、不適切なスキンケアなどが挙げられます¹⁾。

思春期のニキビは脂性肌で多くみられますが、成人では乾燥肌で多くみられます。乾燥肌では保湿は重要ですが、脂性肌ではニキビ治療薬による乾燥の副作用がない限り、保湿は不要です。肌の状態に応じて保湿を行うようにしましょう²⁾。

1) Yang J, et al.: Front Public Health, 8, 450 (2020)

2) 日本痤瘡研究会ホームページ ニキビQ&A <https://www.ibmd.jp/zasou/qa.html#q19> (2023年10月19日閲覧)

基本的なスキンケア

基本的なスキンケアとして、朝に洗顔、日焼け止めの塗布を行い、夜は洗顔と治療薬の塗布を行います。乾燥肌の方や、ニキビ治療薬によって乾燥の副作用が問題となる場合には、洗顔後に化粧水を加えたり、保湿剤を使用して保湿を行います。

林伸和: 薬局, 73, 6: 1826-1829 (2022)

日常生活で注意したいこと

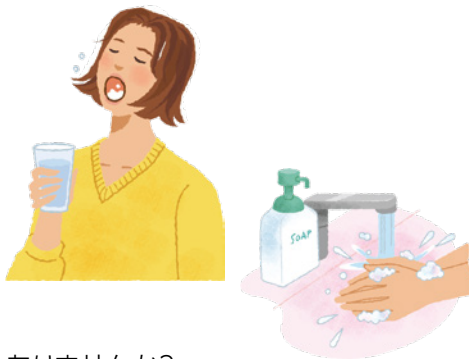
日常生活で注意したほうがよいことは、症状が落ち着いている寛解期と、再燃して症状がみられる活動期で異なる場合があります。過度に制限しなければならぬことはありませんので、病状や体調に応じて自分なりの適切な過ごし方や、病気との付き合い方を見つけられるとよいでしょう。

■ 体調管理について

活動期には、十分な睡眠と休養をとり、疲れやストレスをためないように無理のない生活を心がけましょう。寛解期も、なるべく規則正しい生活を心がけ、疲れやストレスをため過ぎないようにできると安心です。自分なりの楽しみや趣味を持つことなどで、ストレスを発散することも大切です。

■ 感染症予防

感染症を予防するために、帰宅後には手洗い・うがいをする、人ごみを避けるなど、基本的な感染症対策をしましょう。



■ お薬を忘れずに服用する

調子が良いとついお薬の服用を忘れてしまうときはありませんか？ クローン病の寛解を長く維持するために、お薬は医師の指示通り正しく服用しましょう。

■ 適度な運動

適度な運動はストレスを発散するという報告があります。ただし、体に強い負担がかかるような運動は避けましょう。

■ 食事について

活動期や狭窄がある場合は、低食物繊維食、低残渣食が推奨されます。寛解期で、狭窄がない場合は健常人と同程度の食物繊維を摂取することが推奨されています。

迷う場合は、医師や管理栄養士に相談しましょう。

● IBDの食事療法における食材の分類

	消化によいもの	控えたほうがよいもの
穀類	米飯、粥、うどん、食パン、麩、餅	玄米、麦類、赤飯、中華麺、寿司
芋類	じゃが芋、長芋、里芋	さつまいも、こんにゃく
魚介類	脂の少ない白身魚、赤身魚	いか、たこ、貝類
肉類	鶏ささみ、鶏胸肉(皮なし)、レバー、豚・牛の赤身肉またはヒレ肉	ロース肉、ばら肉、ベーコン、鶏肉(皮付き)、ハム、ウインナー
卵類	鶏卵	たらこ、いくら、数の子、子持ちの魚
豆類	豆腐	大豆、空豆、おから、枝豆、納豆
野菜類	青菜類、白菜、大根、人参、キャベツ	れんこん、ごぼう、たけのこ、ふき、きのこ類、セロリ、もやし、葱、山菜
果実類	りんご、バナナ、メロン、桃、缶詰	いちじく、柿、梨、パイナップル、酸味の強い柑橘類、ドライフルーツ
その他	低脂肪乳、スキムミルク	海藻類、漬物、塩辛、乾物

IBD：潰瘍性大腸炎やクローン病に代表される炎症性腸疾患

猿田雅之編. 慈恵医大・猿田式 診療所で見極めるIBD診療.
日本医事新報社. 2023. P187-189

日常生活で注意したいこと

■ 妊娠・授乳について

リンヴォック®は、妊娠の可能性のある方や、妊娠している方は服用できません。リンヴォック®の服用を中止する場合も最後の服用から1月経周期程度は、適切な避妊を実施してください。妊娠を希望される場合には、治療を始める前に医師に相談してください。

母乳を通じて乳児に影響がでるおそれがあるため、リンヴォック®の服用中は授乳をしないようにしてください。

■ 禁煙

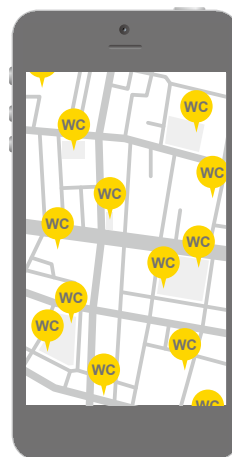
喫煙はクローン病の悪化や再燃に関与していることが知られています。クローン病と診断されたら禁煙に努めることが必要です。

■ 排便時のケア

活動期にはトイレに行く回数が増えてしまいます。排便後に何度もトイレットペーパーで肛門をこすってしまうと、肛門周辺の皮膚が傷ついてしまいます。できるだけ温水洗浄便座のシャワーで洗い流し、水分をふき取るようにしましょう。

■ トイレマップの活用

外出時に急な便意があった場合でも落ち着いて対処できるように、トイレマップなどを活用してあらかじめトイレの場所を確認しておきましょう。



リンヴォック[®]による治療ができる患者さん

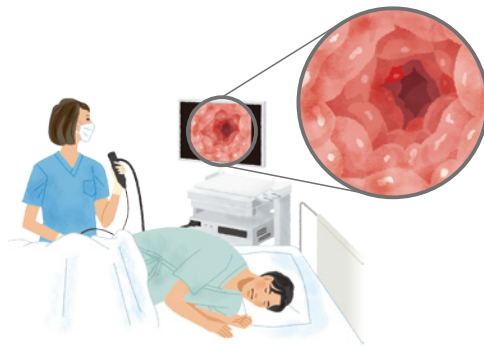
栄養療法や他のお薬を使っても、十分な効果が得られていないクローン病*の方

具体的な例

■ 下痢や腹痛などの症状がある方



■ 腸管に障害がある方



リンヴォック[®]を安全に使用するため、治療を開始する前に確認しておくことがあります(p.10)。

また、リンヴォック[®]による治療ができない場合もあります。

詳しくは医師に相談してください。

治療によって改善が期待できる症状

リンヴォック[®]の服用により、消化管の炎症や潰瘍が抑えられることで、クローン病のつらい症状を改善したり、継続して服用することで再燃を 방지、症状が落ち着いている状態(寛解)を維持することが期待されます。

リンヴォック[®]に期待できること

■ 中等症から重症の活動期クローン病における症状の改善

(既存治療で効果不十分な場合)

・消化管粘膜の炎症や潰瘍の改善 ・下痢の頻度減少 ・腹痛の改善

■ 症状が落ち着いている状態(寛解)の維持

* リンヴォック[®]の効能又は効果(抜粋)は「中等症から重症の活動期クローン病の寛解導入及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)」です。

治療目標と治療効果の確認について

ご自身なりの「治療目標」を考えてみましょう

クローン病の治療では、①症状が落ち着いている状態（寛解）に早く導くこと、②寛解の状態をできるだけ長く維持することが大切です。

リンヴォック®の治療を始めるにあたり「どのような体調を目指したいか」「どのようなことができるようになりたいか」など、ご自身の治療目標について、医師と相談しながら考えてみましょう。

医師と一緒に「治療計画」を立てることも大切です

治療を進める上では、治療の効果がどのくらいあらわれているか、検査をして確認することも大切です。また、治療の進め方や、治療による症状の改善の仕方などは患者さんそれぞれで異なります。

リンヴォック®の治療を進めるにあたり「どのような検査をどのようなタイミングでおこなうのか」「治療効果をどのように確認し、治療をどのように進めていくのか」「どのような治療目標を目指すのか」などの「治療計画」について、医師と相談しておくことも大切です。



MEMO

【治療目標について】

病気に関して困っていること、こういうことができるようになりたいといったことなどについて書き出してみましょう。

例) 便意切迫感が強く、外出が辛い。3ヶ月後の姉の結婚式に出席したい。

【治療計画について】

先生と相談した内容など重要な点をメモしておきましょう。

例) 薬の飲み忘れには気をつける。服薬サポートアプリを試してみる。

Q&A

Q: 症状が悪化したときはどうしたらよいのでしょうか?

クローン病はよくなったり(寛解)、悪くなったり(再燃)をくり返しながら、長くつきあっていく病気です。病状に応じた治療が必要であり、症状の変化によって治療も変わります。症状の悪化など、気になることがある場合には、すぐに医師に相談しましょう。



Q: 飲み忘れたときはどうしたらよいのでしょうか?

飲み忘れに気づいたときは、すぐに1回分を服用しましょう。次の服用時間が近い場合は、次の服用時間に1回分を服用してください。2回分を一度に服用することはやめましょう。

Q: 他のお薬やサプリメントとの飲み合わせには注意が必要でしょうか?

リンヴォック®には、一緒にとることで効果に影響を与える可能性があるお薬やサプリメントがあります(p.13)。他の病院で処方されたお薬や、市販のお薬やサプリメントなどを服用する場合は、必ず医師または薬剤師にリンヴォック®を服用していることをお伝えください。



Q: リンヴォック®は何時に飲んだらよいのでしょうか?

リンヴォック®は1日1回服用しますが、服用する時間はとくに決められていません。朝、昼、晩のいずれでも大丈夫ですが、できるだけ毎日同じような時間帯に服用するようにしてください。

Q: かぜをひいたときはどうしたらよいのでしょうか?

発熱や全身のだるさなど、かぜの症状がみられたときは、急に重症化することもあるため、すみやかに医師に相談してください。リンヴォック®を服用しているときは、お薬の作用により免疫力が低下し、かぜなどの感染症にかかりやすくなることがあります。外出後の手洗い・うがいなど、感染症予防を心がけましょう。



Q: 妊娠や授乳はできますか?

リンヴォック®は、妊娠の可能性のある方や妊娠中の方は服用できません。また、リンヴォック®を最後に服用してから1月経周期程度は、適切な避妊をすることが必要です。妊娠・出産を考えている方は、まず医師に相談しましょう。また、リンヴォック®の服用中は授乳しないことが推奨されています。



Q&A

Q: 他の医療機関にかかるときはどうしたらよいでしょうか?

他の医療機関を受診する場合には、リンヴォック®を服用していることを、医師または薬剤師にお伝えください。

Q: ワクチンを打ってもよいでしょうか?

リンヴォック®の治療を開始する直前や治療中には、生ワクチン*の接種はしないようにしましょう。生ワクチン以外のワクチンについては、接種の制限はされていません。新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンの接種も可能ですが、ワクチン接種後にリンヴォック®を服用するまでに、どのくらい期間を空ければよいかについては、患者さんの体調によりますので、ワクチン接種前に医師に相談するようにしてください。

※生ワクチンにははしか(麻疹)ワクチン、風疹ワクチン、おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)ワクチン、BCG、ポリオ、水痘ワクチンなどがあります。
詳しくは、国立感染症研究所のホームページをご覧ください。



<https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j/249-vaccine/589-atpcs003.html>

Q: 旅行はできますか?

長期間の旅行を計画している場合は、念のため医師に相談しましょう。旅行をする際には、治療薬の持参と、毎日の服用を忘れないようにしてください。海外旅行のときは、服用しているお薬の一般名(リンヴォック®の場合はウパダシチニブ(upadacitinib))をメモして持参すると安心です。



Q: リンヴォック®錠の表面に斑点が見えますが、大丈夫ですか?

リンヴォック®錠 45mgでは、錠剤の表面に斑点状の変色がみられる場合がありますが、品質に問題はありません。

【参考】



患者さん向け情報サイトのご紹介

リンヴォック®を服用される患者さんへの情報をウェブサイトでも公開しています。



<https://rinvoq.jp>

Q&A

Q: 進学はできますか？

クローン病の患者さんは、症状の悪化や通院のために、遅刻や欠席が必要となる可能性があります。寛解時には、通常通り学校生活を送ることが可能です。

Q: 就職することや、今の仕事を継続することはできますか？

■これから就職する方へ

通院や体調による配慮が必要となる方もいますが、多くの方で就職が可能です。病気による制限を考慮しつつあなたが活躍できる仕事を見出すことが重要です。

困った際はハローワークでも相談ができ、一部のハローワークでは「難病患者就職サポーター」が難病相談支援センターと連携してサポートをおこなっています。最寄りのハローワークや各都道府県の難病相談支援センターを確認してください。

全国ハローワークの所在案内:<https://www.mhlw.go.jp/kyujin/hwmap.html>
都道府県・指定都市難病相談支援センター:<http://www.nanbyou.or.jp/entry/1361>
(2023年10月19日閲覧)

■すでに就職している方へ

通院や体調による配慮が必要となる方もいますが、仕事を続けることは可能です。

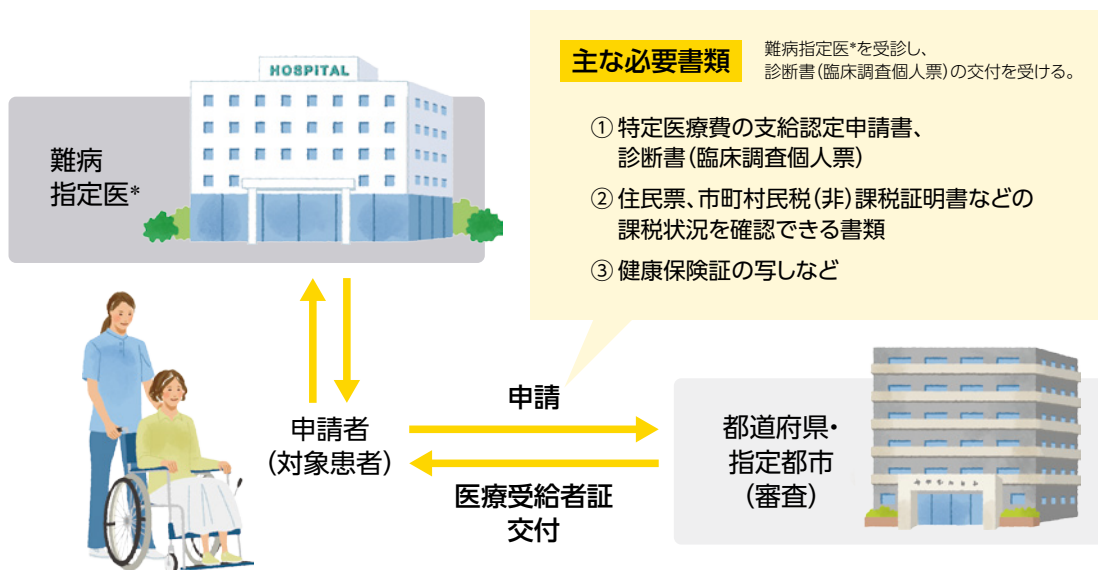
職場での必要な配慮について相談できる社内の相談窓口を確認しましょう。ご自身が希望するライフスタイルに応じた通院や治療ができるのか、病気のことを周囲の人にどのように伝えるかなど、不安なことがあれば医師に相談してみましょう。

指定難病に対する医療費助成について

リンヴォック®の治療では、難病法による医療費助成制度を利用することができます

クローン病は、厚生労働省が定める「指定難病」の一つで、「難病法」により医療費の助成を受けることができます。助成の対象となるのは、クローン病の患者さんで、重症度が一定以上の方や、軽症でも高額な医療を継続する必要がある方※1です。助成を受けるには、指定医療機関で難病指定医によるクローン病の確定診断を受けたあと、所定の申請手続きをおこなう必要があります。認定されると「医療受給者証」が交付され、指定医療機関でクローン病の治療を受けた場合に限り、医療費の助成を受けることができます。指定医療機関及び難病指定医については、難病情報センターのホームページ、もしくはお住まいの都道府県の窓口やホームページなどでご確認ください。

※1 高額な医療を継続する必要がある方：月ごとの医療費総額が33,330円を超える月が年間3回以上となる方（例：医療保険の自己負担割合が3割の場合、医療費の自己負担が10,000円以上の月が年間3回以上となる方）。



*難病指定医については、難病情報センターのホームページで検索するか、お住まいの都道府県・指定都市の窓口にお問い合わせください。

難病情報センターホームページから引用 <https://www.nanbyou.or.jp/entry/5460> (2023年10月19日閲覧)

服薬サポートアプリ(LINE)のご紹介

LINEを利用して、

リンヴォック®の服薬をサポートするサービスがあります

日々の症状や服薬の記録などに活用できる「リンヴォック服薬サポーター」はLINEを利用したサービスです。二次元コードを使ってLINEで友だち追加することで、無料でリンヴォック服薬サポーターを利用することができます。

《主な機能》

- ・服薬リマインダー
- ・服薬記録
- ・症状記録



友だち追加は
こちらから



※バージョンアップにより画面デザインが異なります

医療機関名

製造販売元

アッヴィ合同会社
東京都港区芝浦3-1-21

[文献請求先及び問い合わせ先]
くすり相談室
フリーダイヤル 0120-587-874

2023年12月作成
JP-RNQG-230070-2.0

abbvie